

最優秀賞

ありがとうのじゅんじゅんまつだ

埼玉県秩父市立原谷小学校三年 田中 元基

ぼくは、今年の夏おもしろい運動をした。野球の合宿も汗だくになって、頑張った。プールの朝練もとてもつかれたけど気持ちよく楽しかった。運動を頑張ると同じぐらいあいさつもすごい頑張った。あいさつの大切さは知っていたけど、ぼくにあってわすれられない「ありがとう」を言いました。言葉がある。それはぼくが、目をけがして、しつ明してしまいかもしれないぐらいまでになり、大へんな思いをして入院をくりかえした。日大に一人で入院していた時、すごいなと思った男の人がいた。その男の人はりょう目を手じゅつしたばかりなので、よく見えないのか、トイレに行く時など、りょう手をかんどしさんにいつも引いてもらっていた。もどってくる、かならず元気な声で

「ありがとうございました。」

とお礼をいっていた。ある時その男の人が泣いていた。たぶん男の人のお父さんとお母さんが遠くから来たのだと思う。お父さんが言った。

「おれが生きている内はお前の目になるから、あん心しな」

と。ぼくは「えっ」とびっくりした。いつもベットでしずかにねている様だった男の人だったけど、明るくあいさつしていて、すごい感しゃしていて、ぼくは目がもう見えなくなってしまうんだとは思わなかった。だってすごい明るく元気に「ありがとうございました」といつも言っていた。ぼくは入院中お母さんにいった事がある。お母さんは、ぼくがおいしくごはんを食べて

いると、ウルウルとよくなみだしていた。自分の目をあげるよ。かわってあげたいとも言ってくれた。でもぼくは、

「自分がわるいんだから、大じょうぶ。お母さんぜいたくだよ。いのちがあるんだから左目は見えるんだから、感しゃしなくちゃ。」

とよくお母さんに言った。お母さんはぼくをだきしめて、またなみだした事があった。

男の人は両目が見えないんだ、ぼくも両目が見えなくなったらかなしい。お母さんにいのちがあるんだからと言えるかなあ、真っ暗でお父さんお母さんの顔が見えないよーって泣いてしまいかも。あの男の人の様にありがとうございましたって言えるかな？あの男の人はすごいな。

真っ暗でかなしいと思う。でもいのちがあるから、生きていられるから、感しゃして、明るくお礼が言えるのかなー。男の人が泣いていた次の日、男の人はいなかった。お父さんお母さんの家にかえったのかな。

きせきがおきて、少しでも見えるようになったらいいな。もうどう犬となかよくなって、わらっていたらいいな。あんなりっぱなお礼のできた人だから、きつと元気だと思う。ぼくはあいさつするのがはずかしく思ってしまう時がある。でもあの男の人を見習うぞ。

ぼくは、目が治った。汗が目に入るのもだめな時があった。四ヶ月もプール中止だった。でもこの夏、思いつきりプールで泳ぎ、あいさつも頑張った。これからもずっと頑張るぞ。